



LIXIL スリムアート フラットタイプ・アームタイプ連結部材 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

■取付けされる方へのお願い

●ひさし本体の取付けについては、「ひさし本体の取付け説明書」をご覧ください。

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●漏水の原因になることがありますので下記事項をお守りください。

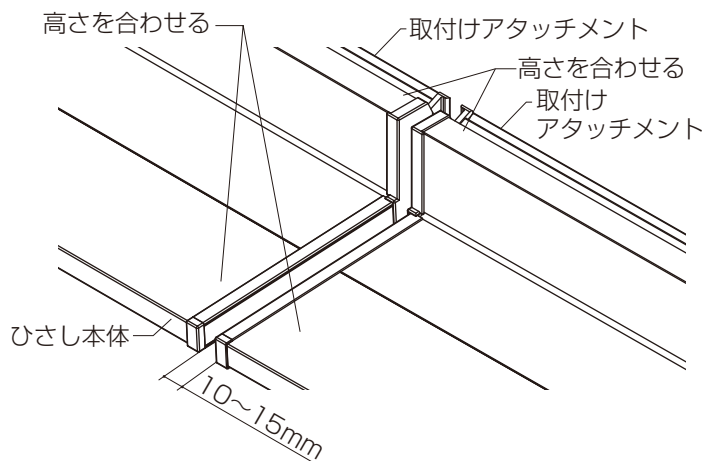
- ・シーリング指定個所には、必ずコーキング材を充てんしてください。
- ・コーキング材は必ず屋外用コーキング材を使用してください。

■取付け順序

この説明書ではフラットタイプ(後付け)で説明しています。
フラットタイプ(先付け)およびアームタイプも同じ手順となります。

1 ひさし本体の取付け

- ①左右の取付けアタッチメントの高さを合わせ、間隔を25mm～30mmあけて取付けます。
- ②ひさし本体を取付けます。
※ひさし本体の取付については、ひさし本体の取付け説明書をご覧ください。
※左右のひさし本体の間隔を10mm～15mmあけてください。

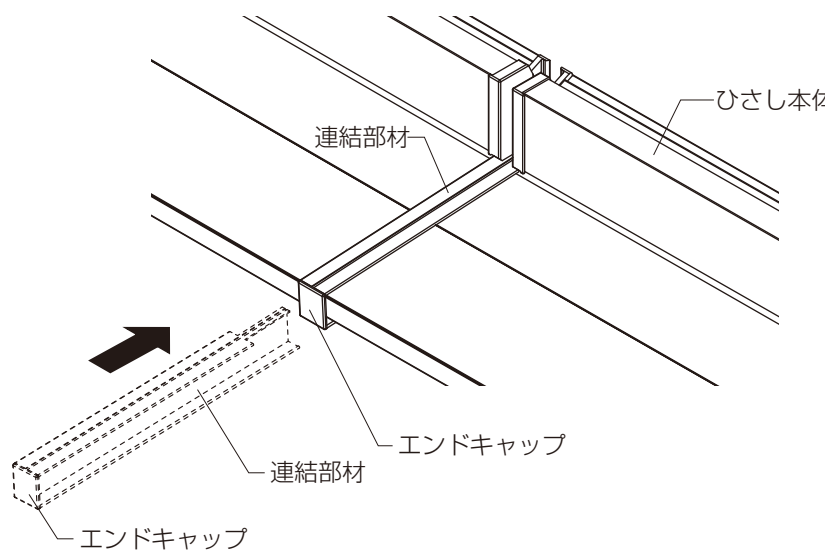
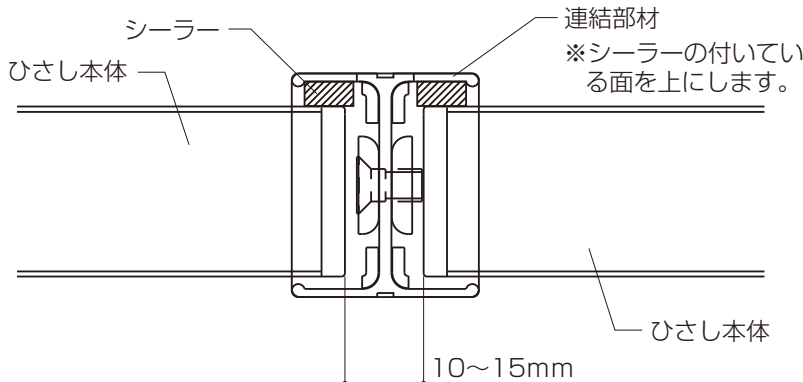


■部品一覧表

連結部材	バックアップ材

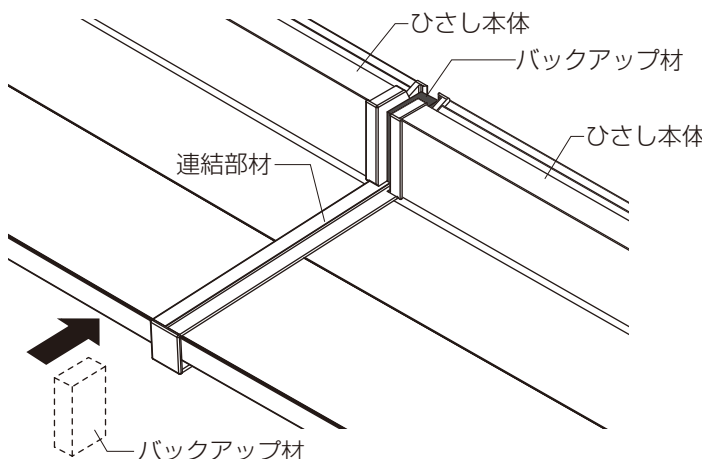
2 連結部材の取付け

- ①ひさし本体の汚れ、ホコリをふき取ります。
- ②連結部材を右図の矢印の方向に差込みます。



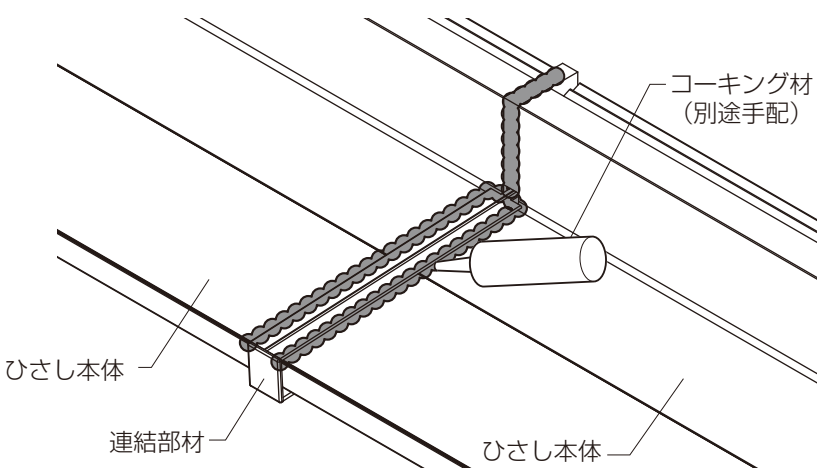
3 バックアップ材の差し込み

- 2つのひさし本体の間にバックアップ材を差し込みます。
連結部材と躯体に接するように、押し込んで下さい。

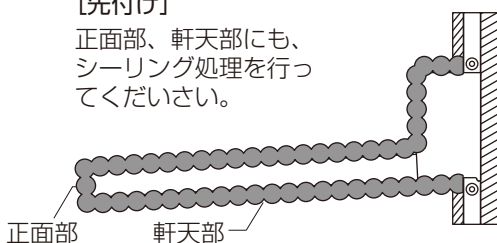


4 連結部のシーリング

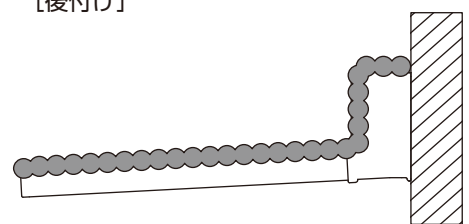
- 連結部材の周囲に、コーキング材(別途手配)を充てんします。
※先付けの場合は正面部、軒天部にもシーリング処理を行ってください。



【先付け】
正面部、軒天部にも、
シーリング処理を行っ
てください。



【後付け】



▲注意

●漏水の原因になることがありますので下記事項をお守りください。

- ・シーリング指定個所には必ずコーキング材を充てんしてください。
- ・コーキング材は必ず屋外用コーキング材を使用してください。